



## 2021年5月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年9月14日

上場会社名 株式会社 ツルハホールディングス  
 コード番号 3391 URL <http://www.tsuruha-hd.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鶴羽 順

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 村上 誠

TEL 011-783-2755

四半期報告書提出予定日 2020年9月29日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年5月期第1四半期の連結業績(2020年5月16日～2020年8月15日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年5月期第1四半期	224,623	7.6	15,162	20.1	15,328	19.1	9,137	4.7
2020年5月期第1四半期	208,805	9.3	12,623	11.8	12,868	10.5	8,727	20.8

(注) 包括利益 2021年5月期第1四半期 14,554百万円 (30.2%) 2020年5月期第1四半期 11,178百万円 (50.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年5月期第1四半期	188.75	187.84
2020年5月期第1四半期	180.50	179.90

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年5月期第1四半期	527,280	264,501	46.1	5,018.45
2020年5月期	414,002	250,934	56.4	4,821.26

(参考) 自己資本 2021年5月期第1四半期 243,098百万円 2020年5月期 233,332百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年5月期		74.00		93.00	167.00
2021年5月期					
2021年5月期(予想)		83.50		83.50	167.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年5月期の連結業績予想(2020年5月16日～2021年5月15日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	424,400	1.9	21,550	9.3	22,193	9.2	13,480	13.3	278.53
通期	860,000	2.3	45,200	0.4	46,484	0.4	27,000	3.2	557.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 有 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年5月期1Q	49,327,268 株	2020年5月期	49,282,868 株
期末自己株式数	2021年5月期1Q	886,255 株	2020年5月期	886,255 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年5月期1Q	48,409,879 株	2020年5月期1Q	48,351,862 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は業況の変化により上記数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は添付資料の2ページをご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2020年5月16日～2020年8月15日)における経済情勢は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い4月に政府が緊急事態宣言を発出したことなどにより、消費者マインドの著しい低下が見られました。その後緊急事態宣言の解除を受け、徐々に経済活動の再開の動きが見られるものの、感染再拡大の懸念も依然として続いており、先行きは極めて不透明な状況で推移いたしました。

ドラッグストア業界においては、競合他社の出店や価格競争が引き続き激化しているほか、大手企業・上場企業を含めた統合・業界再編への動きがさらに強まっております。

このような状況のもと、当社グループではカウンセリングを主体とした接客サービスの徹底を継続して行うとともに、高齢化や競争激化に伴う商圈縮小に対応すべく利便性の強化を図るため、精肉・青果の導入をはじめとする既存店舗の改装を推進したほか、プライベートブランドにおいては、商品開発・販売体制を強化し、当社グループの新たなプライベートブランド「くらしリズム」「くらしリズムMEDICAL」への刷新と展開拡大を図りました。また、店舗運営業務の効率化を図り生産性を高めることを目的に、人員配置・在庫管理等をサポートするシステムの導入に取り組んでまいりました。新型コロナウイルス感染拡大の影響については、インバウンド需要の落ち込みや化粧品等の需要減があったものの、感染予防関連商材の需要増、緊急事態宣言等による外出自粛に伴う日用品・消耗品、食品等の需要増が見られました。

店舗展開につきましては、ドミナント戦略に基づく地域集中出店および既存店舗のスクラップアンドビルドを推進したことにより、期首より29店舗の新規出店と26店舗の閉店を実施いたしました。また2020年5月28日付でJR九州ドラッグイレブン株式会社を子会社化したことにより206店舗が加わり、当期末のグループ店舗数は直営店で2,359店舗となりました。

当社グループの出店・閉店の状況は次のとおり

(単位：店舗)

	前期末 店舗数	出店	子会社化	閉店	純増	第1四半期末 店舗数	うち 調剤薬局
北海道	404	2	-	5	△3	401	98
東北	506	8	-	1	7	513	99
関東甲信越	473	8	3	3	8	481	163
中部・関西	233	3	-	5	△2	231	113
中国	300	3	1	-	4	304	93
四国	211	5	-	5	0	211	55
九州・沖縄	23	-	202	7	195	218	25
国内店舗計	2,150	29	206	26	209	2,359	646

上記のほか、海外店舗21店舗、F C加盟店舗4店舗を展開しております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高2,246億23百万円(前年同期比7.6%増)、営業利益151億62百万円(同20.1%増)、経常利益153億28百万円(同19.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益91億37百万円(同4.7%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,132億78百万円増加し、5,272億80百万円となりました。おもな要因は、金融機関休業日であったことによる現金及び預金と売掛金の増加とJR九州ドラッグイレブン株式会社の株式取得等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて997億11百万円増加し、2,627億79百万円となりました。おもな要因は、金融機関休業日であったことによる買掛金の増加とJR九州ドラッグイレブン株式会社の株式取得等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて135億66百万円増加し、2,645億1百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は10.3ポイント減少し、46.1%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年6月22日公表の通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年5月15日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年8月15日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	57,069	115,028
売掛金	31,180	44,578
商品	108,163	119,655
原材料及び貯蔵品	48	115
短期貸付金	2	2
その他	15,312	17,741
流動資産合計	211,776	297,123
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	37,454	40,297
機械装置及び運搬具(純額)	1	0
工具、器具及び備品(純額)	10,681	11,398
土地	12,597	13,513
リース資産(純額)	3,592	4,942
建設仮勘定	2,483	3,076
有形固定資産合計	66,810	73,230
<b>無形固定資産</b>		
のれん	32,121	41,820
ソフトウェア	423	697
電話加入権	87	105
その他	624	647
無形固定資産合計	33,258	43,272
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	37,372	43,904
長期貸付金	13	12
繰延税金資産	5,175	5,795
差入保証金	55,242	59,429
その他	4,420	4,592
貸倒引当金	△67	△78
投資その他の資産合計	102,157	113,655
固定資産合計	202,225	230,157
資産合計	414,002	527,280

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年5月15日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年8月15日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	93,968	153,540
短期借入金	—	4,200
1年内返済予定の長期借入金	1,903	8,601
未払金	14,889	16,853
リース債務	517	600
未払法人税等	8,897	5,678
賞与引当金	4,916	2,863
役員賞与引当金	614	166
ポイント引当金	4,107	5,076
その他	6,459	11,549
流動負債合計	136,274	209,130
固定負債		
長期借入金	5,250	27,575
リース債務	3,945	5,510
繰延税金負債	8,328	10,289
退職給付に係る負債	3,043	3,326
資産除去債務	2,932	3,576
その他	3,292	3,371
固定負債合計	26,793	53,649
負債合計	163,067	262,779
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,290	10,585
資本剰余金	28,342	28,638
利益剰余金	175,590	180,226
自己株式	△5,312	△5,312
株主資本合計	208,911	214,137
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24,554	29,073
退職給付に係る調整累計額	△132	△112
その他の包括利益累計額合計	24,421	28,961
新株予約権	1,639	1,645
非支配株主持分	15,962	19,757
純資産合計	250,934	264,501
負債純資産合計	414,002	527,280

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年5月16日 至 2019年8月15日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年5月16日 至 2020年8月15日)
売上高	208,805	224,623
売上原価	148,984	159,546
売上総利益	59,820	65,076
販売費及び一般管理費	47,197	49,913
営業利益	12,623	15,162
営業外収益		
受取利息	29	31
受取配当金	54	73
備品受贈益	115	63
受取賃貸料	52	55
受取保険金	7	14
その他	162	103
営業外収益合計	421	342
営業外費用		
支払利息	133	153
中途解約違約金	32	13
その他	9	10
営業外費用合計	176	176
経常利益	12,868	15,328
特別利益		
固定資産売却益	0	2
特別利益合計	0	2
特別損失		
固定資産除却損	23	16
特別損失合計	23	16
税金等調整前四半期純利益	12,845	15,313
法人税等	3,497	5,333
四半期純利益	9,348	9,979
非支配株主に帰属する四半期純利益	620	842
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,727	9,137

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年5月16日 至 2019年8月15日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年5月16日 至 2020年8月15日)
四半期純利益	9,348	9,979
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,818	4,547
退職給付に係る調整額	11	26
その他の包括利益合計	1,830	4,574
四半期包括利益	11,178	14,554
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,562	13,677
非支配株主に係る四半期包括利益	615	877



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(会計方針の変更)

(税金費用の計算方法の変更)

従来、当社および連結子会社の税金費用につきましては、原則的な方法により計算しておりましたが、当社および連結子会社の四半期決算業務の一層の効率化を図るため、当第1四半期連結会計期間より連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実行税率を乗じて計算する方法に変更しております。

なお、この変更による影響は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。